

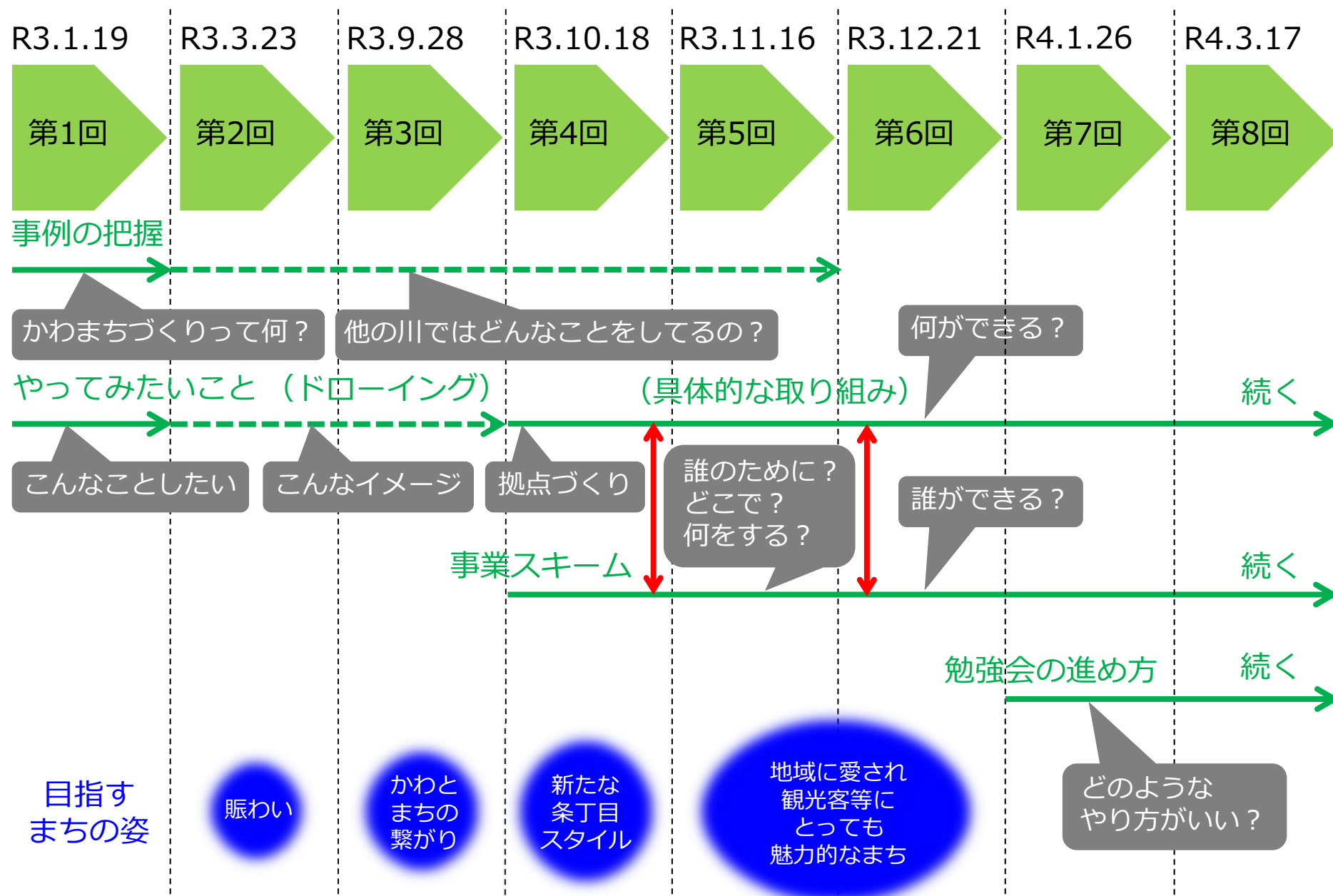
第9回 江別市かわまちづくり勉強会

令和4年6月30日

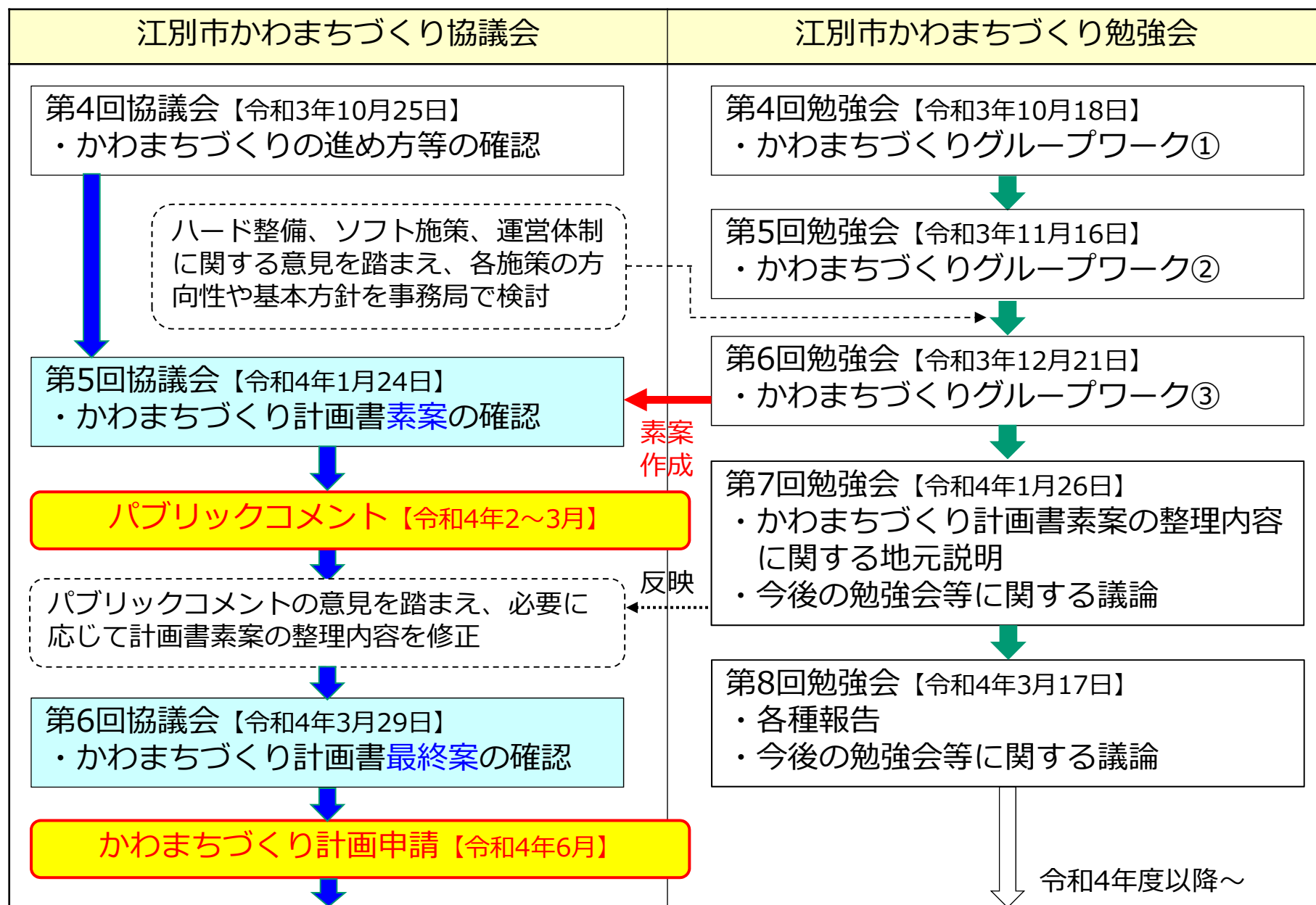
江別市

1. 前回勉強会の振り返り
2. かわまちづくり計画等の内容説明
3. グループワーク
4. 総括
5. その他

これまでの勉強会の流れ



支援制度への申請までの流れ



日時：令和4年3月29日（火）18:00～20:30
ZoomによるWeb開催

- ・勉強会・支援制度への申請までの流れについて
- ・前回勉強会の議事内容等の振り返り
- ・パブリックコメント調査結果等の報告

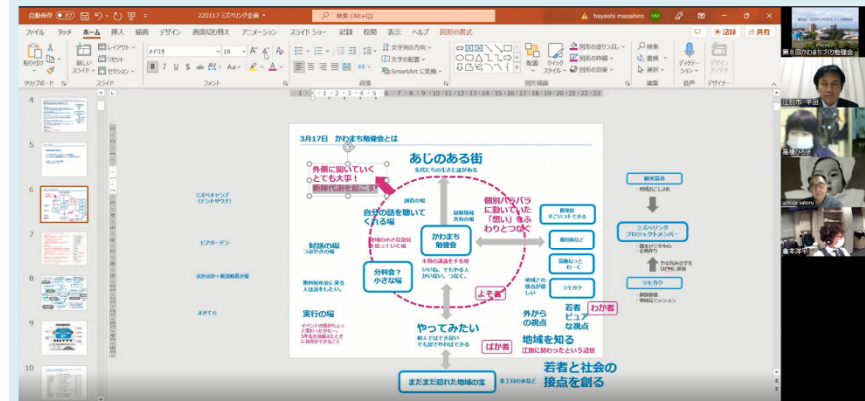
アウトドア／外輪船／教育・こども／歴史・文化／
広報について「いつ何やる?」「興味あること」



Vol.08
2022.3.17

旧岡田倉庫の利活用と条丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして Web 勉強会を開催しました。Web 勉強会では、江別市から前回勉強会の振り返りや「かわまちづくり計画書（素案）」のパブリックコメント結果報告等を行い、その後参加者全員で、今後の勉強会で「いつ何をやる？」「興味あること」というテーマでざっくりと意見交換を行いました。

新型コロナウイルスの非常に厳しい状況にありますが、色々な方々と議論を重ねながら、条丁目地区を元気にしたいと思います。



条丁目地区でのイベント活動報告等を踏まえ、アウトドア、外輪船、教育・子ども、歴史・文化、広報の視点で、「今後の勉強会でいっ何をやる?」「興味あること」というテーマに活発な意見交換が行われ、「勉強会でなくてもいいので、自分の意見を言いたくても言えない人たちの声を聞いてあげる場所があればよい」「江別市内の他地区の人たちも巻き込んだ取り組みをしていく必要がある」「子どもを巻き込んだ現実的な取り組みを勉強会で議論していくのがよい」等の意見が出ました。

千歳川と江別市条丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かし
ながら、条丁目地区をより明るく元氣するための「かわまちづくり」
に関する勉強や意見交換をしています。

条丁目地区の未来を一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和4年6月
開催予定
です！

【事務局】江別市役所商工労働課内
(電話) 011-381-1023 (Eメール) shoko2@city.ebetsu.lg.jp



第8回勉強会での主な意見

<アウトドア、外輪船、教育・子ども、歴史・文化、広報について興味があること>

- ・ 人から意見を聞かされる機会があっても自分の話を聞いてくれる場所がないと思っている人たちが条丁目地区には多くいると思うので、そういう一人一人の人たちの声を聞いてあげる場所があればよいと思う。
- ・ 江別神社の御神水を使ったお酒造りが近年行われていて、江別のブランドづくりに貢献できていると感じる。
- ・ 今回エキテラ2022に関わらなかった人たちと繋がるイベントをやっていけたらと思う。
- ・ 他地区のイベントに条丁目地区のPRブースを出すのもよいと思う。
- ・ 勉強会で分科会を設けるのであれば、子どもを巻き込んだ現実的な取り組みを議論していくのがよいと思う。
- ・ かわまちづくりなので川の話をしなないといけないと思うが、まちの色々な部分を有機的に結びつけていく活動の場所がかわまちづくりの拠点なのだと思う。
- ・ 活動の自走化を意識した視点を持つ必要がある。

これまでの意見を踏まえた取組イメージ

整備	分野				
	アウトドア	外輪船	教育・こども	歴史・文化	広報
ハードル 高	キャンプ フィールド	カフェ		川の 水族館	ネット ラジオ
			フリース ペース		かわら版
	カヌー クルーズ	コワーキ ング		江別港	広報誌 HP
	フット パス		幼稚園 保育園と の連携	ギャラ リー展示	まんまる 新聞
ハードル 低					

水辺とまちづくりに関する基本方針

江別市条丁目地区・大川通地区と千歳川が一体となった水辺空間の活用、条丁目地区内の歴史的建造物の活用、周辺地域との連携、条丁目地区の歴史・文化の発信を推進し、江別港を中心に舟運で栄えた江別市条丁目地区の歴史性を活かした新たな「条丁目スタイル」の観光・まちづくりによる賑わいの創出により、条丁目地区・大川通地区を含む江別市の地域活性化に寄与することを目指す。

【目標】

地域に愛され、観光客等の外部の人間にとっても魅力的な「かわまち」
(水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいの創出)

<誰のために>

- ・ 条丁目地区の住民
- ・ 子育て世代
- ・ 条丁目地区を愛する人
- ・ 観光客

<どこで>

- ・ 水辺空間
- ・ 外輪船及び母屋
- ・ 条丁目地区
- ・ 周辺地域

<何をする>

- ・ 水辺の利活用
- ・ 歴史的建造物の活用
- ・ 周辺地域との連携
- ・ 歴史文化の発信

舟運で栄えた歴史性を活かした新たな“条丁目スタイル”の観光・まちづくり

ソフト施策内容

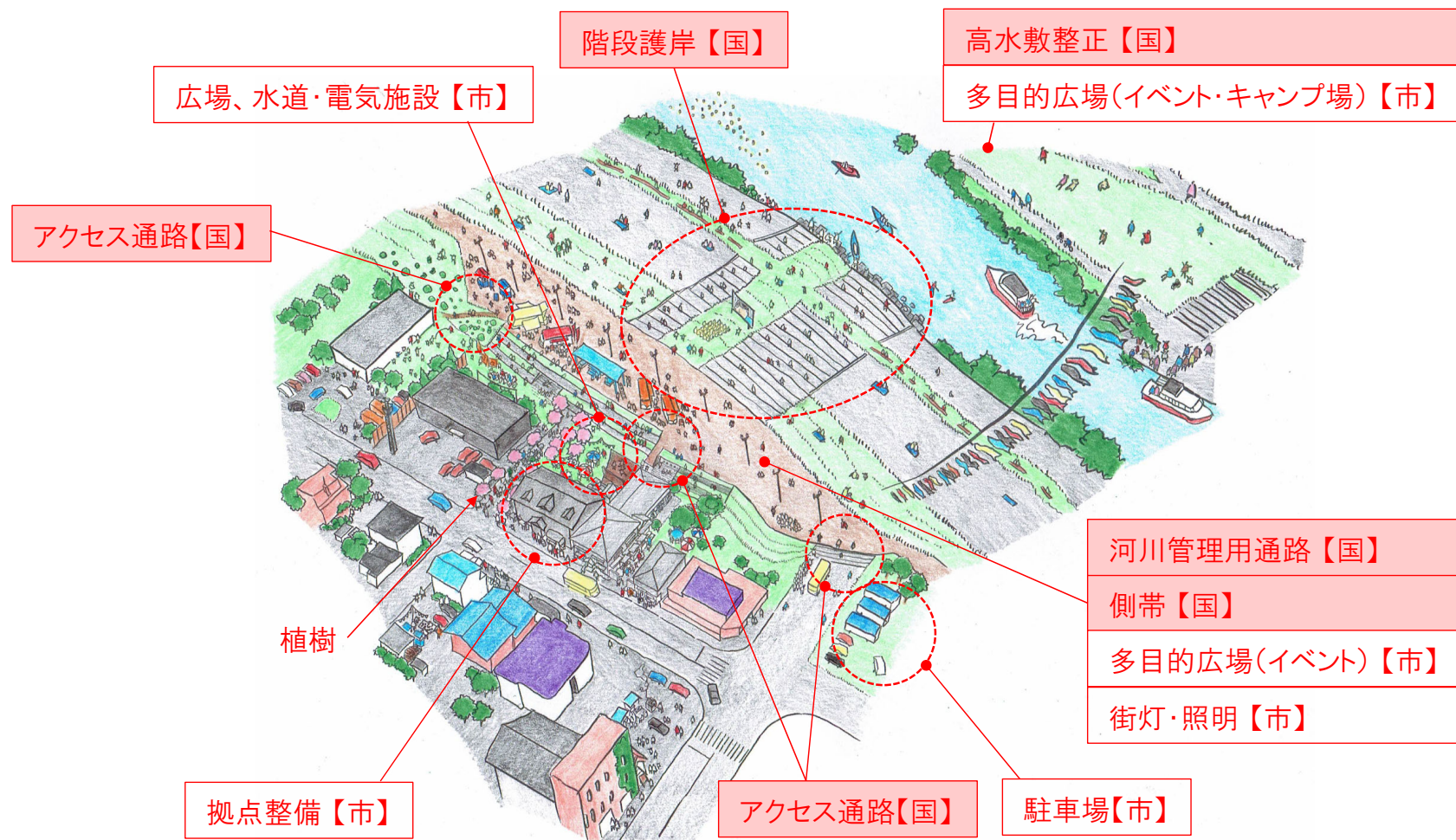
地域のニーズに沿ったソフト施策の実施による魅力向上と地域のブランドイメージ定着を図ることにより、地域に愛され観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指す。

- ①千歳川の水辺空間を活用した新たなイベントの企画
(夏の灯籠流し・いかだ下り、水辺でのやきもの市、キッチンカーによる飲食販売等)
- ②冬のイベント・アクティビティプランの設定
(河川管理用通路沿いのアイスキャンドル、堤防沿いの緩斜面を利用したそり滑り等)
- ③広域観光周遊モデルコースの設定
(市民が日常的に利用可能な散歩・ジョギング・サイクリングコースの設定等)



ハード施策内容

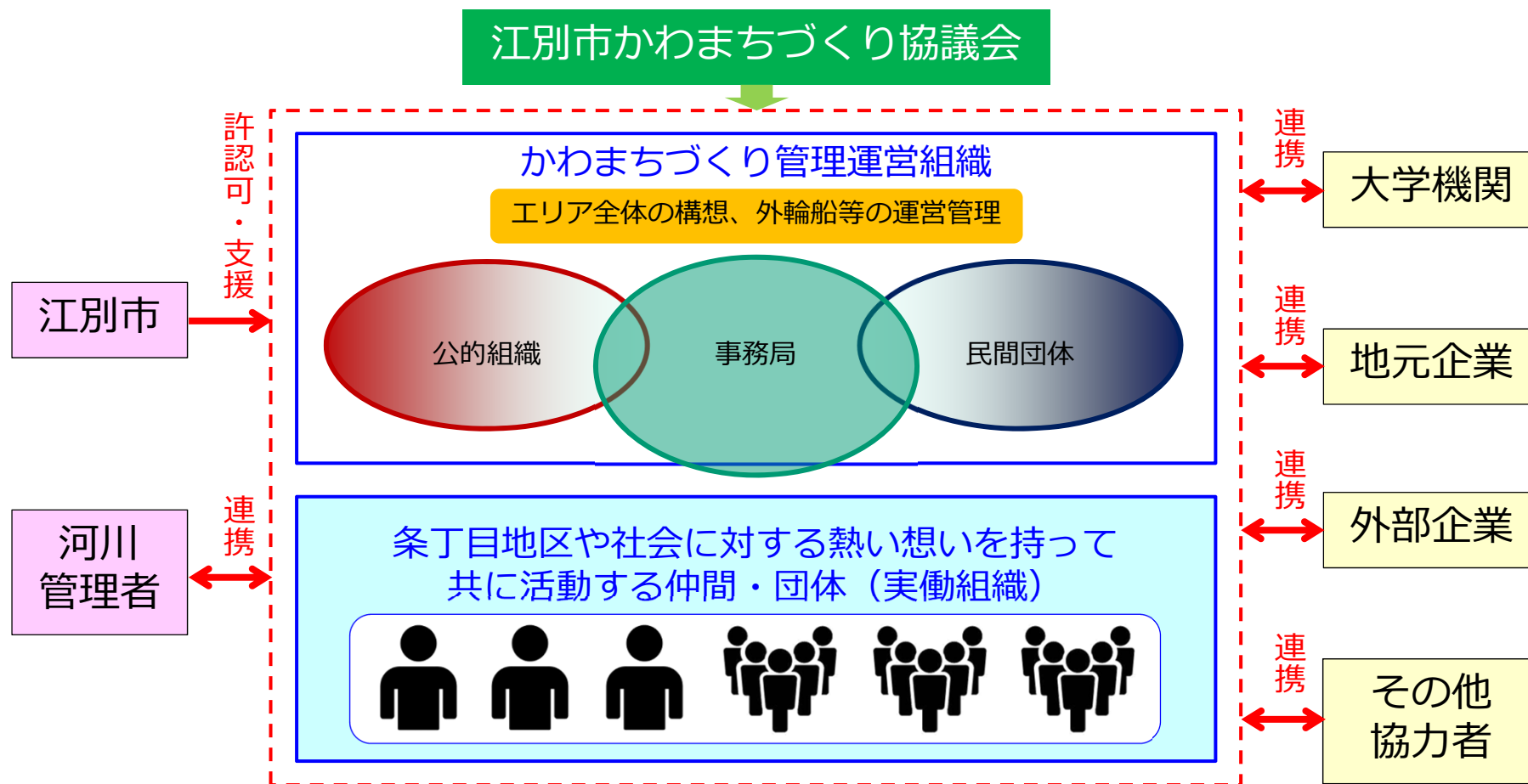
外輪船を条丁目地区・大川通地区における地域観光・まちづくりの拠点に位置づけ、地域の歴史・文化・観光等に関する情報を発信するとともに、市民に日常的に水辺を利用してもらい、水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいを創出するため、江別市条丁目地区・大川通地区の水辺整備を実施する。



※赤地は河川管理者、白地は自治体・推進主体の整備区分

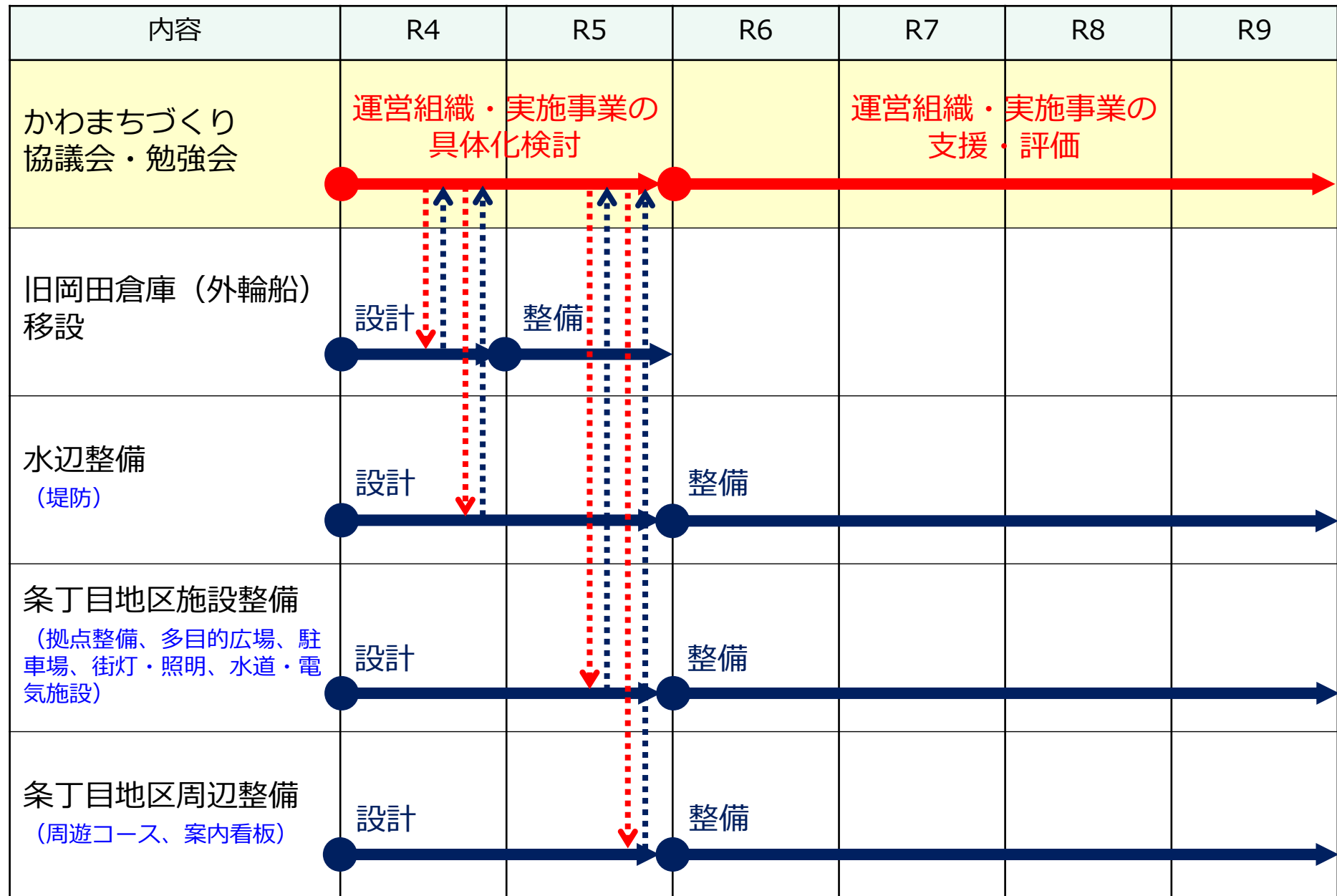
管理・運営組織の実施体制（案）

江別市、学識経験者、地元関係者等からなる「江別市かわまちづくり協議会」を設立し、江別市街築堤整備に伴い移設を要する 外輪船の利活用方法等について検討するとともに、外輪船周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組について協議してきた。今後、民間事業者を加え、事業を遂行する実行組織の発足をを目指す。



他

長期的なロードマップ（案）



今年度のロードマップ（案）

	かわまちづくり協議会	かわまちづくり勉強会	その他
6月		第9回 ・大川通地区の現地視察 ・対岸側河川空間の利活用についてのグループワーク	かわまちづくり 計画申請
7月	第5回 ・かわまちづくりの進め方の確認		
8月		第10回 ・ソフト&ハード施策のグループワーク	
9月	第6回 ・計画登録報告 ・ソフト&ハード施策に関する協議		かわまちづくり 計画登録
10月		第11回 ・拠点づくり（旧岡田倉庫）に関する グループワーク	
11月	第7回 ・拠点づくり（旧岡田倉庫）に関する確認		
12月		第12回 ・ソフト&ハード施策のグループワーク	
1月	第8回 ・ソフト&ハード施策に関する確認		
2月		第13回 ・運営体制等のグループワーク	
3月	第9回 ・運営体制&次年度勉強会の確認		

①かわまちづくり展示会（4/30実施）



②Mizubering Ebetsu Camp (6/12実施)



②Mizubering Ebetsu Camp (6/12実施)



③ミズベで乾杯（7/7実施予定）



④情報大藤本ゼミプロジェクト

江別かわまちづくり での学生生活動事例

2022/6/30



北海道情報大学・経営情報学部
先端経営学科 藤本 直樹

0. はじめに

2

▶ かわまち計画

- **地元大学との連携**が計画書で位置づけ

▶ 市内4大学の地域活動拠点

- 札幌学院大学 社会連携センター
- 北翔大学 地域連携センター
- 北海道情報大学 地域連携・産学連携センター
- 酪農学園大学 社会連携センター

➤ えべつ未来づくりプラットフォーム(4大学+市+会議所)

▶ その他

- 各教員が主宰するゼミ、サークル等での活動

0. はじめに

3

▶ 藤本ゼミナール

● 活動テーマ 「地域活性化プロジェクトの支援」

➤ 三年生6名（♂5・♀1）、四年生6名（♂5・♀1）



河川を利用した夏イベント

2022年7月30日(土)～31日(日)

1. 千歳川・石狩川での体験

5

▶ 弁天丸クルーズ

- 地元子ども達を弁天丸に乗せて川の魅力を体験
- 事前申込制（ビラを各戸へポスティング）
 - 北海道開発局・江別河川事務所の協力、支援



1. 千歳川・石狩川での体験

6

▶ e ボート体験

- 10人乗りの手こぎカヌーで川の魅力を体験
- 事前申込制（ビラを各戸へポスティング）
- 石狩川振興財団・江別河川事務所の協力、支援



※画像はイメージです

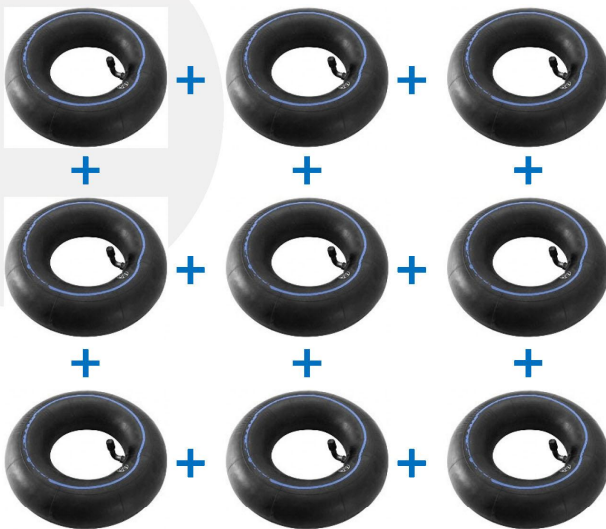
2. ぷかぷか(仮称) 実証実験

7

▶ 身近な水辺をリビングに！

● タイヤチューブ+板+人工芝でくつろぎの場

- ▶ タイヤチューブを結束バンドや引っ越しベルトで連結
- ▶ その実現性、安全性、容易性を学生が実証

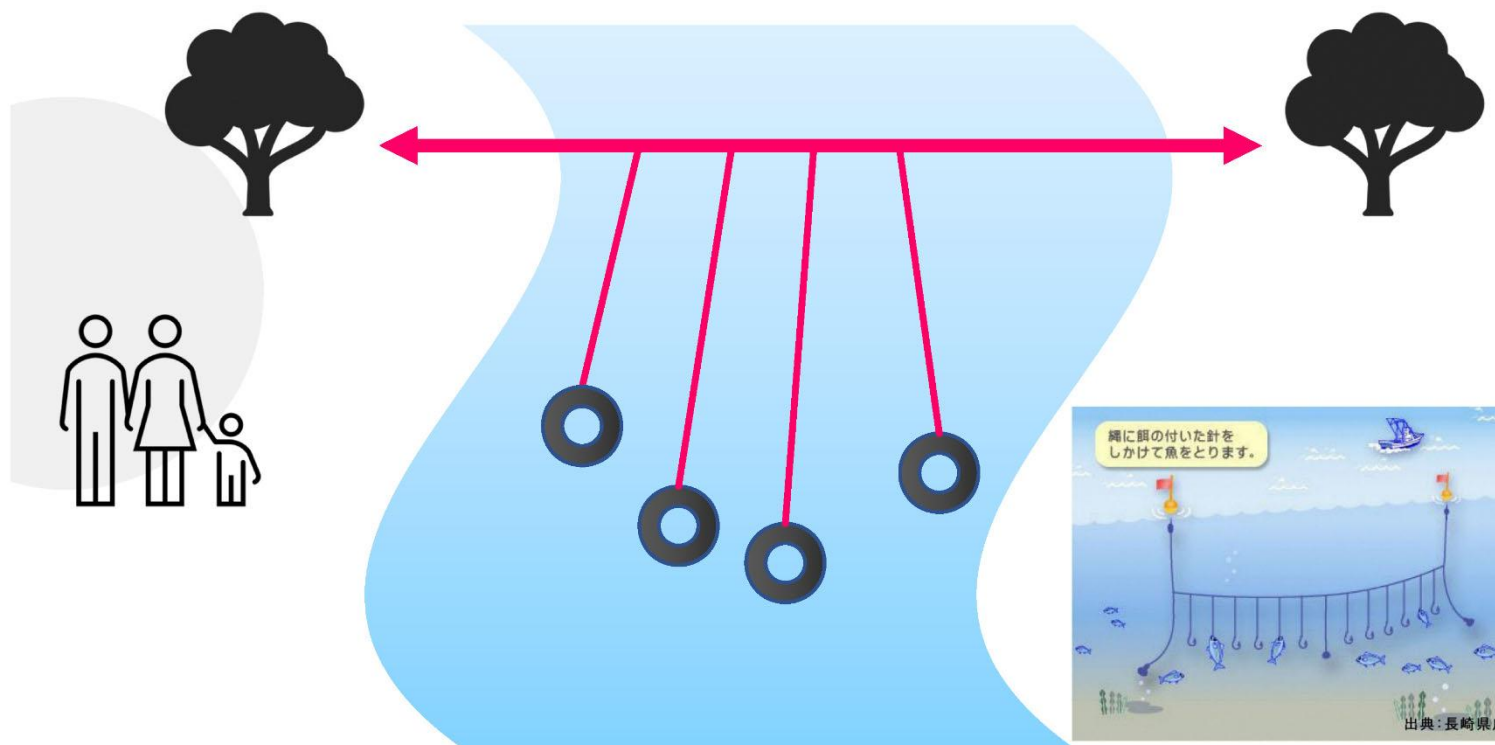


2. ぷかぷか(仮称) 実証実験

8

▶ 身近な水辺をリビングに！

- その発想は、延縄漁からヒントを得た



Minecraftによる街並み再現

3. Minecraftによる街並み再現

10

▶ かわまち計画の対象エリアで...

- 世界的に有名なゲームMinecraft（通称マイクラ）
 - 1m×2mのブロックを積んだり、地面を掘ったり、
 - ブロックを組み合わせることによって街並みを再現
 - 簡単なプログラミングで、複製や時間・季節の変更が可能



3. Minecraftによる街並み再現

11

▶ かわまち計画の対象エリアで...

- **さまざまなシミュレーション**

- 桜並木や芝桜、キッチンカー、イベントスペース、駐車場
- バーチャル空間でまちづくり案を検討（シミュレーション）

- **共有サーバを立てて、ゲームの世界に招待**

- 人間の目線で条丁目地区を徘徊
- バーチャルで誘引し、リアル世界へ誘導
- 子どもや若者を対象としたコンテスト、ガチ勢の参加

- **江別市大学連携調査研究事業補助金の活用**

- 開発用＋ワークショップ(体験用)のライセンス30セット
- パソコン版、Switch版、PlayStation版などを統合

3. Minecraftによる街並み再現

12

▶ 全国で大学生等がMinecraftを活用



児童の制作時間、タブレットを使って作業する児童たち

児童作成中「覚えていて」



22年3月閉校 北見・上仁頃小

【北見】2022年3月まで閉校する北見市上仁頃小（前校長 19人の、6年生らが、コンピュータゲームを利用し、仮想空間に同校の校舎の立体的な姿を再現する取り組みを進めている。本物とほぼ同じと、校舎の真実を再現し合うという「建設」中。秋の完成を目指している。（本田みず希）

僕らの校舎 仮想空間に

4月から、総合学習の時間で、児童たちは「覚えていて」の授業を受けている。授業では、児童たちが、コンピュータゲーム「Minecraft」を使って、仮想空間に同校の校舎の立体的な姿を再現する取り組みを進めている。本物とほぼ同じと、校舎の真実を再現し合うという「建設」中。秋の完成を目指している。（本田みず希）

新ひだかの街並み 仮想空間で“散策”



プロジェクトに取り組むのは、経営情報学部の福沢康弘教授（53）と情報メディア学部の河原大講師（42）。「eスポーツサクル」の学生ら。福沢教授は4年前から観光庁、地域経済を研究する「eスポーツ」をテーマに、昨年度から同町を舞台にプロジェクトを始めた。ゲームは、コンピュータ上でブロックを自由に組み合わせて街並みを再現する。再現する市販ソフト「マインクラフト（マイクラ）」で制作した。自

マイクラで再現したJR管内駅周辺の様子について説明する（左から）福沢康弘教授と河原大講師、チームの学生

地域活性化へ 道情報大が制作

【新ひだか】北海道情報大（江別）がコンピュータゲームの事前を機に「eスポーツ」を活用した地域活性化プロジェクトを道管内新ひだか町で進めている。27日には同町の街並みや観光名所をコンピュータ上の仮想空間に再現した宝探しゲームを道内の学生が参加するオンラインのeスポーツ行事で初披露し、「一般公開」を始める。同大関係者は「eスポーツで地域を元気にする『新ひだかモデル』を作りたい」と、江別や札幌も舞台にしたいと、ほかの地域での活用も構想している。（本田みず希）

宝探しゲーム 27日お披露目



分たちで撮影した町内の写真などを基に、商店街やサクラの名所「三丁間道」などを再現し、参加者は仮想の街並みを散策しながら宝探し、得点を競う。ゲームはマイクラをパソコンなどにダウンロード（有料）し、27日曜日にプロジェクトのサイト「OCTO」に掲載する。アクセスコードを使えば誰でも楽しめる。河原講師はゲームを通じて世界のeスポーツファンに地域の情報を発信する。と語る。プロジェクトチームは、マイクラで再現した街並みの映像を新ひだか観光協会に提供し、20日からJR管内駅待合室のモニターで放映されている。同チームは地元小学生がマイクラで再現した街並みを再現するなどの教育での活用策も同町教委に提案する考えだ。福沢教授は「プログラミング教育として有効な上、子供が地元商店街の目を見ることが出来る」と、地域活性化だけでなく、教育面でのeスポーツ活用を目指している。

＜大川通地区の視察報告＞（10分）

＜グループワーク＞（65分）

- 「**対岸側河川空間の利活用**について」
（どんなことができそう？実現させるためには？）

【議論の主なポイント】

- ①石狩川・千歳川合流点付近の利活用
 - ②防災ステーション付近の河川敷の利活用
 - ③千歳川の水辺利用・アクティビティ
 - ④まち側（条丁目地区）との連携
- グループでの意見交換（40分）
 - 休憩（10分）
 - 全体共有（15分）

河川空間の利活用に関する主な意見①

No.	概要
第2回	年1回ミズベリングで 弁天丸でのクルージング をやっているが、そのような形で川と親しむのは良いことだと思う。
	6～9月の暖かい時期に週1回でも 船 に乗れば楽しいと思う。
	実際に SUP や カヌー をやっている人がいるので、そういったアクティビティの拠点にしたり、 遊覧船 の頻度を多くしてもいいと思う。
	カヌー や ヨット をやりながら 自転車での周遊 や バーベキュー 、温泉等を楽しむといった環境が重要だと思う。
第3回	防災ステーションの下流に延びている敷地で、テントを張って キャンプ や バーベキュー をしたり、今流行りの テントサウナ もできるかもしれない。
	堤防が土堤になることで緩傾斜になり水辺に近づきやすくなるので、そうしたうまみを活かして、安全性を担保した上で 水辺と触れ合えること を考えていくことが重要である。
第4回	河川区域の低い場所に 広場 を整備して朝マーケットやカフェ、マルシェを実施し、そこでの収益を外輪船、母屋、隣接する施設、河川の一体的な運営に充てる管理体制・組織が必要だと思う。
	条丁目地区はJR江別駅からも近いので、地域のハブや都市型ウォーターフロントになりえるし、川を使って ウォータータクシー で通勤したり、 フォールディングカヌー で下るといった利用の拠点としても考えられる。
第5回	工作所跡地を キャンプ場 や スケボーパーク にしてもよいと思う。

No.	概要
第6回	昔の子供たちが川で遊んだりしたように、 気軽に触れられ遊べるようになる と良い
	クルーズ をもっと定期的にできると良い。
	雪合戦 や ドッグラン といった関心を引くような取り組みをしてもよいのではないか。
	雪でベンチ を作ったり、 雪かき 自体をアクティビティにしてはどうか。
第7回	川が近いところで遊べる と繋がりができて良い。

①花火大会

・・・入間川（埼玉県）、長良川（岐阜県）等

②自然体験学習

・・・太田川（広島県）等

③サマーキャンプ

・・・山国川（大分県）等

④フェスティバル

・・・豊平川（北海道）、最上川（山形県）、堀川（愛知県）等

⑤コンサート・音楽祭

・・・信濃川（新潟県）等

⑥マーケット・カフェ

・・・尻無川（大阪府）、大分川（大分県）等

⑦ドッグラン

・・・荒川（埼玉県）、庄内川（愛知県）等



河川敷でのアウトドアの実施例

- 機材 : 不要（運営事業者が河川敷に設置）
- 食材 : 飲食店が提供
- 営業時間 : 7月～9月下旬の11～22時
- 料金 : 飲食代



- 機材 : 不要（運営事業者が河川敷に設置）
- 食材 : 運営事業者からの購入、または持ち込み
- 営業時間 : 土日祝日の10～13時及び14～17時
- 料金 : ¥500/人（食材持ち込み・事前予約の場合）



- 機材 : 運営事業者からのレンタル、または持ち込み
- 食材 : 持ち込み
- 営業時間 : 通年の9～16時（5時間利用可能）
- 料金 : ¥500/人（機材・食材持ち込みの場合）



- 機材 : 専門業者からのレンタル、または持ち込み
- 食材 : 専門業者からの購入、または持ち込み
- 営業時間 : 8～19時（3～10月）8～17時（11～2月）
- 料金 : なし（機材・食材持ち込みの場合）

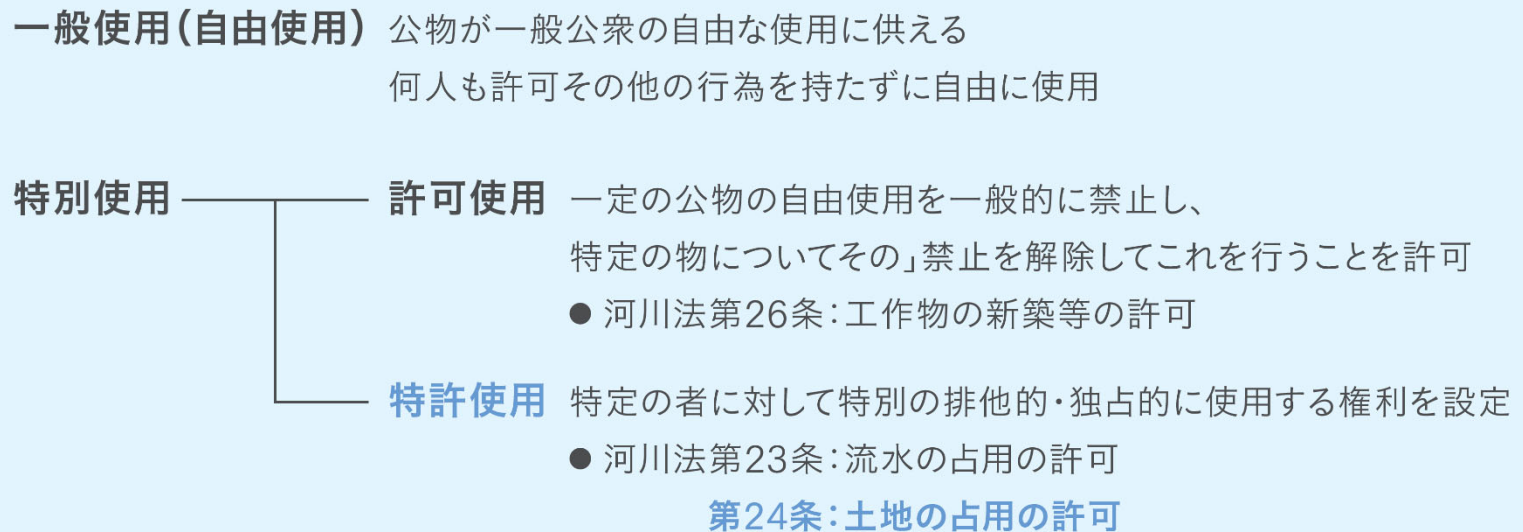


河川利用について

基本的に千歳川は公共用物であり、自由に利用できるものの、自由使用の範囲を超えて排他的・継続的に使用する場合は、河川管理者の許可を受ける必要がある。

河川敷地を占有※する場合は「河川敷地占有許可準則」に基づく許可手続きが必要となるが、占有の考え方や手続きは河川管理者の自由裁量で行われている。

公物の使用関係



出典：国土交通省ホームページ (<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyoku/machizukuri/pdf/tebiki.pdf>)

※占有について

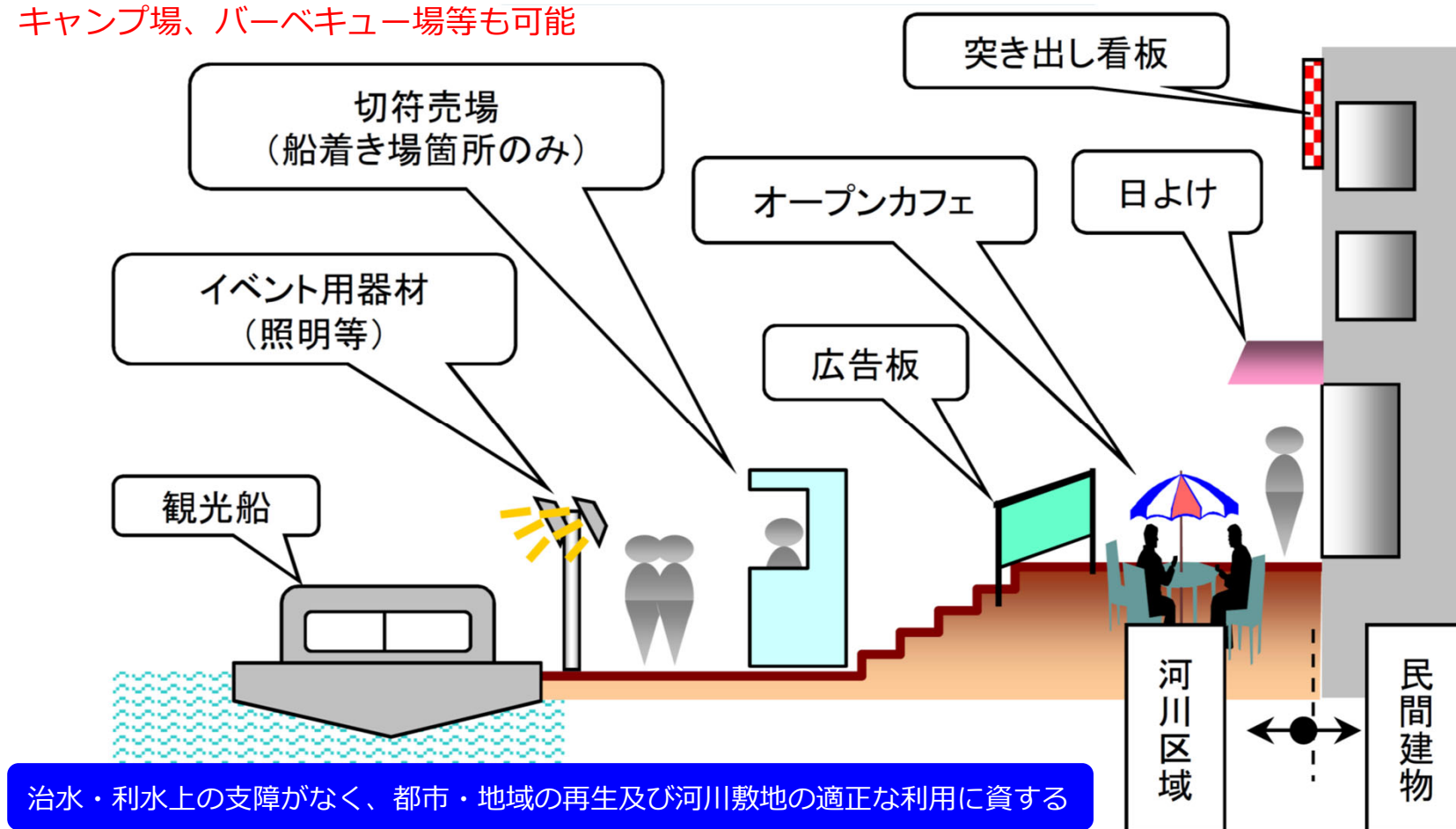
河川敷地に施設等を設置し、敷地内を独占して使用することを意味する。

占有が認められる施設は、治水上や利水上の支障がなく、他者の河川利用を著しく妨げないものとし、河川周辺の土地利用、景観等を損なわず、かつそれらと調和したものでなければならない。また、河川整備計画等の河川の整備、保全又は利用に係る計画が定められている場合は、その計画に沿ったものでなければならない。

河川敷地については、原則的に自治体等の公的主体にのみ許可され営業活動を行うことができないが、平成23年の河川敷地占用許可準則の改正により、多様な主体による賑わいのある水辺空間の創出に資するため、特例として地域の合意が得られた場合に、占用主体及び占用施設を緩和してオープンカフェ、売店等の営業活動を行う事業者等（民間事業者等）についても占用を許可することが可能となった。

これにより、水辺のオープンカフェや川床、イベント広場等による多様な利活用が推進されている。

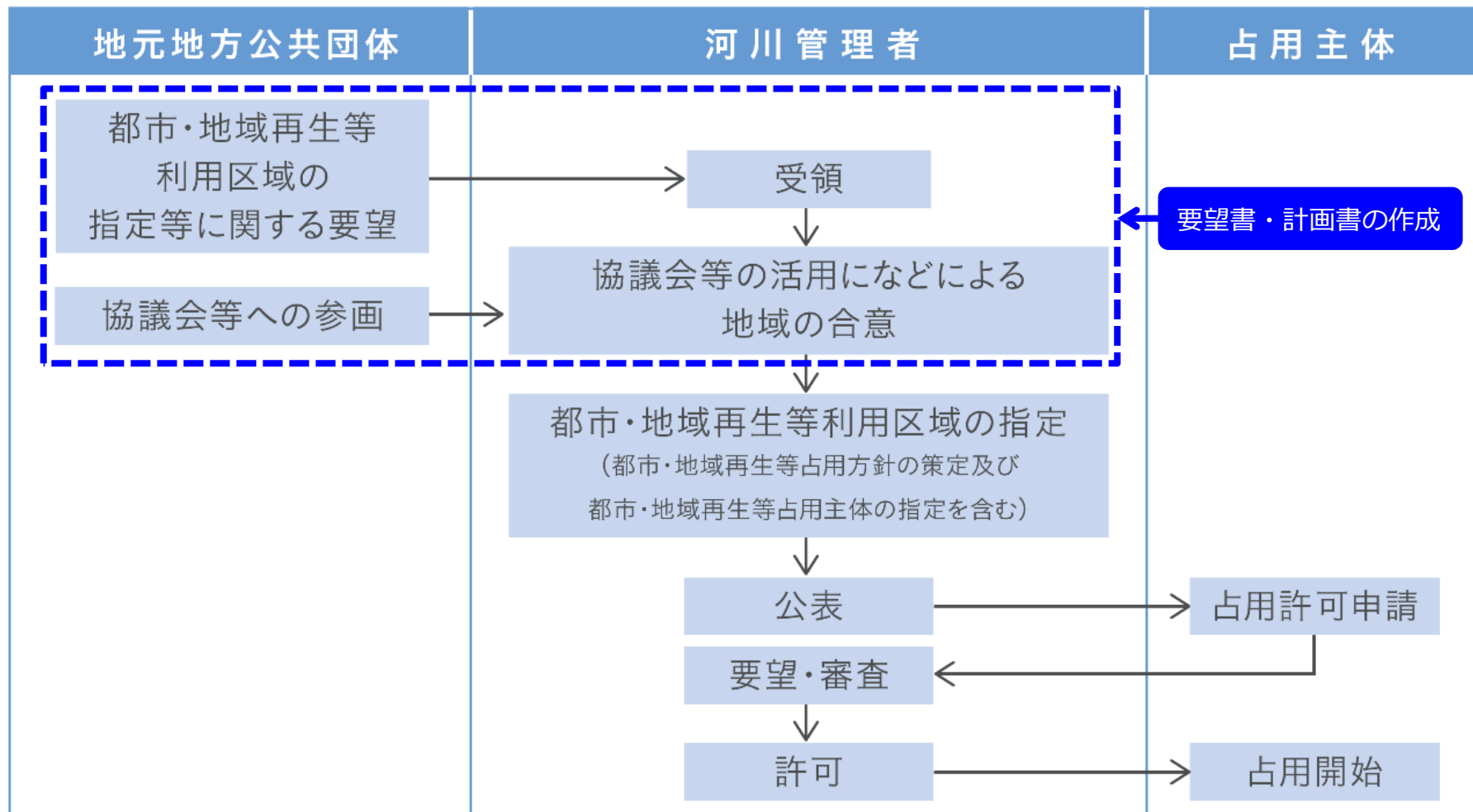
広場、キャンプ場、バーベキュー場等も可能



都市・地域再生等利用区域の制度について②

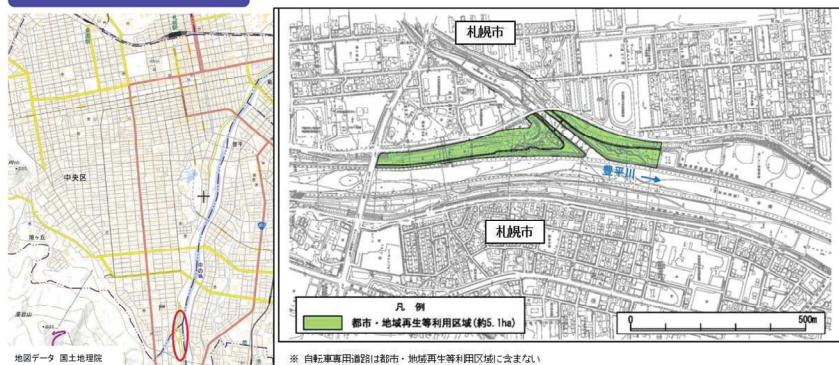
事業者等による河川敷地の利用にあたっては、河川管理者が「都市・地域再生等利用区域」を指定することになっている。

平成28年の河川敷地占用許可準則の改正により、民間事業者等への占用許可期間を「3年以内」から「10年以内」に延長している。

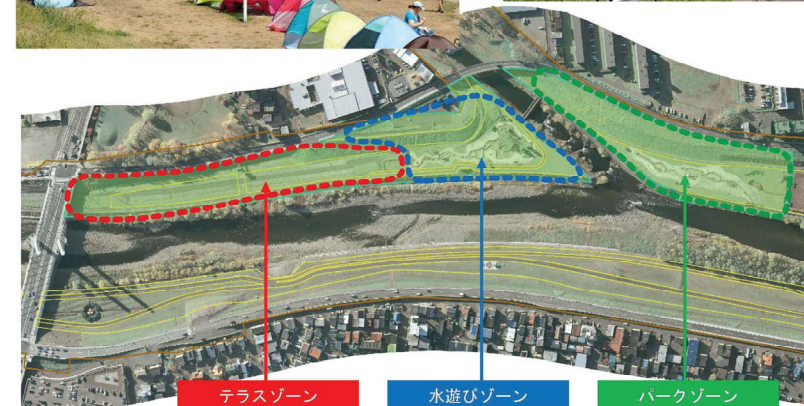


区域名称	豊平川ウォーターガーデン
概要	札幌市の公園緑地「豊平川ウォーターガーデン」を中心として、自然とのふれあいの場や子育ての場としての機能充実と利活用促進を図るため、環境教育等のイベント開催、飲食物の販売等を実施する。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	1級・石狩川水系・豊平川
指定範囲	札幌市中央区南26条西7丁目395-9～ 南区南30条西8丁目510-1地先
指定日	R2.1.27
占用主体	札幌市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道その他都市及び地域の再生等のために利用する施設（公園緑地）、これらと一体をなす飲食店・売店・オープンカフェ・照明音響施設・日よけ等
合意方法	豊平川利活用協議会
許可期間	10年
関連URL	北海道開発局HP https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kengyou/ud49g700000081ty.html

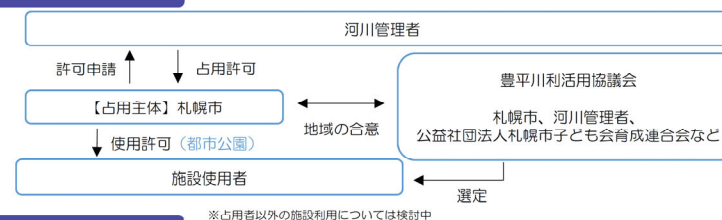
位置



水辺の様子



事業スキーム



効果と今後の展開

- ・「豊平川ウォーターガーデン」には、遊水路や遊具が設置され、夏には多くの家族連れが訪れる。
- ・環境教育イベントの開催や民間事業者による飲食物等の販売、休憩施設等の利便施設の充実により、レクリエーション・レジャー空間としての利用促進を図る。

都市・地域再生等利用区域の事例（信濃川）

区域名称	信濃川やすらぎ堤
概要	新潟市中心市街地を流れる信濃川のやすらぎ堤（緩やかな法面勾配（5割）の堤防）や萬代橋は、新潟市のシンボルである。その素晴らしいロケーションを活かしたイベントの実施や飲食店の出店等により、賑わいと憩いの場が創出され、河川区域を含む萬代橋周辺地区の一層の活性化と新潟市の魅力・活力の向上が図られる。
河川管理者	北陸地方整備局長
水系名・河川名	1級・信濃川水系・信濃川
指定範囲	萬代橋～八千代橋間の信濃川左右岸及び水面
指定日	H28.2.25
占用主体	新潟市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道、船着場、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明、音響施設、切符売場、案内所、船上食事施設、等
合意方法	信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
許可期間	3年
関連URL	北陸地方整備局HP http://www.hrr.mlit.go.jp/river/toshitikisaisei_shitei/yasuragitei/index.html

位置



水辺の様子

新潟中心部の憩いの場となっているやすらぎ堤



“やすらぎ堤の出店状況”



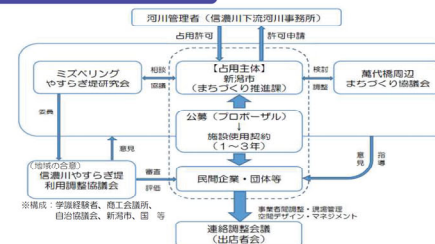
民間事業者によるミズベの創出



イベント実施状況



事業スキーム



利用者数

店舗数	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
右岸	11	14	12	7
左岸	9	13	11	6
計	20	27	23	13

利用者数	H28(推計)	H29(推計)	H30(推計)	R1(推計)
7月	12,000人	13,000人	16,500人	17,100人
8月	10,000人	12,600人	12,300人	14,100人
9月	8,000人	8,700人	5,000人	9,100人
10月	—	—	1,500人	—
計	30,000人	34,300人	35,300人	40,300人

効果と今後の展開

- ・ 占用主体である新潟市が公募により選定した民間事業者等と使用契約を結び、オープンカフェや売店等の店舗営業やイベントを開催している。
- ・ これにより、人々の関心や動きがやすらぎ堤周辺に集まるようになり、“ミズベ”から“まちなか”へと賑わいの広がりに期待が高まっている。
- ・ 今後、より民間事業者が主体性を発揮できる体制を構築し、さらなる賑わいの創出を目指している。